

3類型	観光資源	通巻番号	1-26-001
地域資源名	流水硝子館	認定日	平成26年10月15日
地域	北海道網走市	所管省庁	経済産業省 国土交通省

事業名：流水硝子館をプラットフォームとしたオホーツクの食と文化をテーマとする体験型観光推進事業

会社名：株式会社ぐんじ 所在地：北海道網走市南4条東6丁目2番地1
 連絡先：TEL：0152-43-3480 HP：http://www.ryuhyo-glass.com
 FAX：0152-67-4362

事業概要(新たな活用の視点)

- ・本事業は、地域産業資源である流水硝子館を中核に、オホーツクの食とウィルタ(樺太の民族)文化等を体験できる「硝子細工体験サービス事業」「網走番屋・オホーツクマルク事業(飲食・物販)」を行い売上の増加、収益の拡大を図る。網走市や観光協会などと連携し、入り込み客数の増、滞在型・時間消費型観光を構築していく。



【流水硝子館外観】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

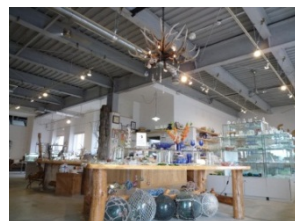
- ・本事業は、地域資源である「流水硝子館」をプラットフォームとして企画立案、集客、施策実施等の運営を行っていくため、(株)ぐんじ以外の事業者が「流水硝子館」を活用して同様の取組みを行うことは困難である。
- ・網走市ならではの食や文化を体験できる観光資源を集積し、市や観光協会などの関係機関と連携した観光振興は、網走地域において初めての取組みといえる。

◆市場性

- ・網走市は景観雰囲気に関する満足度は高いが、観光スポットが少ないため、新たな観光施設やユニークな土産品への要望が多く寄せられている。
- ・オホーツクならではの景観雰囲気、地元ならではの食、ここしか体験できないアクティビティへのニーズが高い。

◆販路

- ・ウィルタ民族の伝統模様であるイルガ模様を活用し、デザインイメージのブランド化を推進する。
- ・各観光施設を連動させ、観光客の回遊化による滞在時間の延長、体験観光サービスへの誘導を行う。
- ・旅行代理店等と連携し、集客のためのプロモーションや体験観光に係る商品開発を検討する。



【館内風景】

地域資源における関係事業者との連携

- ・網走市、網走市観光協会、網走商工会議所等と連携し、景観、食など、地域ならではの魅力で観光客の集客を図る。
- ・あばしり湖鶴雅リゾートとも連携し、ウィルタ文化の知名度アップを図っていく。



【イルガ模様商品】